

2019年11月14日

各位

会社名 アライドアーキテクト株式会社
 代表者名 代表取締役社長 豊増 貴久
 (コード番号: 6081 東証マザーズ)
 問合せ先 経営企画室長 大野 聡子
 (TEL 03-6408-2791)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2019年2月13日に公表した2019年12月期の業績予想を、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,210	百万円 251	百万円 238	百万円 146	円 銭 10.42
今回修正予想 (B)	4,161	△103	△136	△192	△13.76
増減額 (B - A)	△48	△354	△374	△338	—
増減率 (%)	△1.2	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2018年12月期)	4,088	△14	△251	△369	△26.42

2. 修正理由

売上高につきましては、当初の予想4,210百万円に対し、1.2%減の4,161百万円を見込んでおります。このうち、当社及びAiCON TOKYO株式会社（以下、あわせて「当社等」）は、既存の事業の安定的な売上高増加に加えて、越境・インバウンドプロモーション事業の売上高増加等により、当初の予想に対して70百万円の増加を見込んでおります。一方、連結子会社のCredits Pte. Ltd.（以下「CREADITS社」）は、期初における出足の遅れがあったため、当初の予想対比では118百万円の減少を見込んでおります。しかしながら、CREADITS社のサブスクリプション売上高は大幅に伸長しており、直近の月額売上高は当初想定の水準に達し、12月の月額売上高は期初の約3倍となる見通しです。

営業利益につきましては、当初の予想251百万円の営業利益に対し、103百万円の営業損失を見込んでおります。未達額354百万円のうち、当社等は、新規受注増加に向けたマーケティングコスト及びプロダクト強化に向けた開発・運用コスト等の増加により、当初の予想対比で89百万円の減少を見込んでおります。また、CREADITS社におきましては、上記売上高の未達に加え、新規受注獲得に向けたマーケティングコストの発生等により、264百万円の減少を見込んでおります。

以上の結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当初予想値を下回る見通しとなったため、業績予想を修正いたしました。

当社グループといたしましては、中長期的な成長を目的に、安定的に成長を続ける国内事業の利益を、ポテンシャルの高い海外事業等へ投資することを実施しております。当期におきましては、先行投資段階にあるCREADITS社では営業損失となったものの、売上高は損益分岐点に近づ

いており、来期以降での利益貢献を見込んでおります。

今後につきましても、企業価値の向上を目指し、国内事業の更なる成長と CREADITS 社の黒字化に向けて、当社グループ一丸となって尽力してまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

以上